

(平成29年2月分)

部 門	市況の概要
(青果部の動向) 全 般	2月の青果物は、近郷産地をはじめとして、年明けからの冷え込みや積雪の影響を受けた産地において、入荷減や正品率の低下が見られた。2月下旬からは全国的に気温も上がり入荷も順調となったが、月を通じた入荷量は前年同月を6%下回り、単価は高値だった前年同月並みとなった。 3月の近郷野菜では、ハクサイや春菊などの鍋物商材、はたけ菜は終盤を迎え、花菜は最盛期となる。タケノコの入荷が本格化の兆しを見せ、あわせるように木の芽が入荷してくる。 果実では、中晩柑類の最盛期がイヨカン等から不知火、せとか等に切り替わり、清見オレンジ、甘夏かんは増量傾向となる。イチゴ類も最盛期を迎える。
野 菜	野菜は、全国的な冷え込みと各地域での積雪等の影響から、上旬は入荷が不安定となるも、下旬からは潤沢に入荷し、月を通じた入荷量は前年同月を7%下回った。果菜類は昨年を大きく下回るも、根菜類や土物類が高単価で推移し、単価は高値だった前年同月並みとなった。 根菜類は、入荷量が前年同月を13%下回り、単価は17%上回った。 葉菜類は、入荷量が前年同月を3%下回り、単価は前年同月並みとなった。 果菜類は、入荷量が前年同月並みとなったが、単価は高値だった昨年同月を15%下回った。 土物類は、入荷量が前年同月を9%下回り、単価は10%上回った。
果 実	果実は、産地残量の多いミカンや2番果の生育が順調なイチゴ類が順調に入荷した一方で、イヨカンが栽培面積の減少により入荷減となったほか、リンゴ類も輸出向けの引き合いが強く下位等級中心の集荷となったため、全体として、入荷量・単価ともに品薄・高値となった前年同月並みに落ち着いた。 柑橘類は、入荷量が前年同月を4%下回り、単価は高値だった昨年同月を4%下回った。 リンゴ類は、入荷量が前年同月を6%下回り、単価は前年同月比8%下回った。 イチゴ類は、入荷量が前年同月を39%上回り、単価は前年同月を15%下回った。 メロン類は、入荷量が前年同月並みとなったが、大玉の出荷比率が多く、単価は19%下回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長ダイコン	徳島，長崎，鹿児島から入荷され，入荷量は前年同月比で１５％下回り，単価は１６％上回った。
西洋ニンジン	鹿児島，長崎，愛知，千葉から入荷し，入荷量は豊作だった前年同月を１０％下回り，単価は５４％上回った。
【葉菜類】 ハクサイ	愛知，兵庫，岡山，茨城，長崎，滋賀から入荷され，入荷量は前年同月を７％上回ったが，先月に続いて引き合いが強く，単価は２８％上回った。
キャベツ	愛知，兵庫，大阪，和歌山，滋賀，京都等から入荷され，入荷量は前年同月を２３％下回り，単価は１０４％上回った。
ホウレンソウ	徳島，茨城，群馬，京都，滋賀等から入荷され，入荷量は前年同月並みとなったが，中旬以降に入荷量が増えて相場が低迷し，単価は１１％下回った。
レタス	兵庫，徳島等から入荷され，入荷量は前年同月を１５％上回り，単価は３０％下回った。
【果菜類】 キュウリ	宮崎，高知，徳島，滋賀から入荷され，入荷量は前年同月並みとなり，単価は高値だった前年同月を３０％下回った。
ナス	高知，岡山，熊本，福岡から入荷され，入荷量は前年同月を６％下回ったが，ナガナスの出荷増により単価は４％下回った。
トマト	熊本，福岡を中心に，京都からも入荷され，入荷量は前年同月を３％下回ったが，消費が低迷し，単価は１０％下回った。
ピーマン	宮崎，高知，鹿児島から入荷され，入荷量は前年同月を１０％上回り，単価は２６％下回った。

【土物類】

バレイショ
(メーク含む)

北海道、長崎、鹿児島から入荷され、入荷量は前年同月並みとなり、単価は全国的に引き合いが強く、前年同月を19%上回った。

タマネギ

北海道、兵庫、静岡、長崎から入荷され、入荷量は前年同月比で15%下回り、単価は8%上回った。

【その他野菜】

生シイタケ

徳島，広島，岡山等から入荷され，入荷量が前年同月を４％下回ったが，暖冬で需要が伸び悩み，単価は７％下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ミカン	和歌山，福岡から入荷され，入荷量は前年同月を１０％上回り，単価は５％下回った。
イヨカン	愛媛から入荷され，栽培面積の減少が影響して入荷量は前年同月を２８％下回ったが，下位等級の割合が多く，単価は前年同月並みとなった。
不知火	和歌山を中心に愛媛，福岡から入荷され，入荷量は前年同月並みとなったが，酸味の強いものの比率が多く，単価は８％下回った。
サンふじ	青森，岩手から入荷され，小玉傾向で入荷量が前年同月を１５％下回ったが，下位等級の比率が多く，単価は１１％下回った。
王林	青森から入荷され，輸出用に集荷したため入荷量は前年同月を３７％上回り，単価は前年同月並みとなった。
イチゴ	福岡，佐賀，熊本，大分，長崎から入荷され，入荷量は前年同月を３９％上回り，単価は１５％下回った。
アールスメロン	静岡，高知から入荷され，入荷量は前年同月並みとなり，大玉傾向となったため，単価は１９％下回った。